

アデノ随伴ウイルス産生の活性化試薬

RevIT™ AAV Enhancer

mirus bio®

RevIT AAV Enhancerは、HEK293細胞で高力価のAAVを生産するための活性化試薬です。既存のAAV製造ワークフローに容易に組み込むことが可能で、さまざまな血清型（セロタイプ）、培養培地、トランスフェクション・プラットフォームに適用することができます。

特長

- 既存のワークフローに導入するだけでAAV力価が向上
- 生産工程で使用するプラスミドDNA量を削減
- 製造コスト削減と収率の向上に有用
- GMP対応製品あり



実験フロー

導入しやすいシンプルなワークフロー！

細胞培養

細胞を定期的に継代し、トランスフェクション前生存率を95%以上に。

Day 0 : トランスフェクション

細胞を播種する。

トランスフェクション複合体の調製

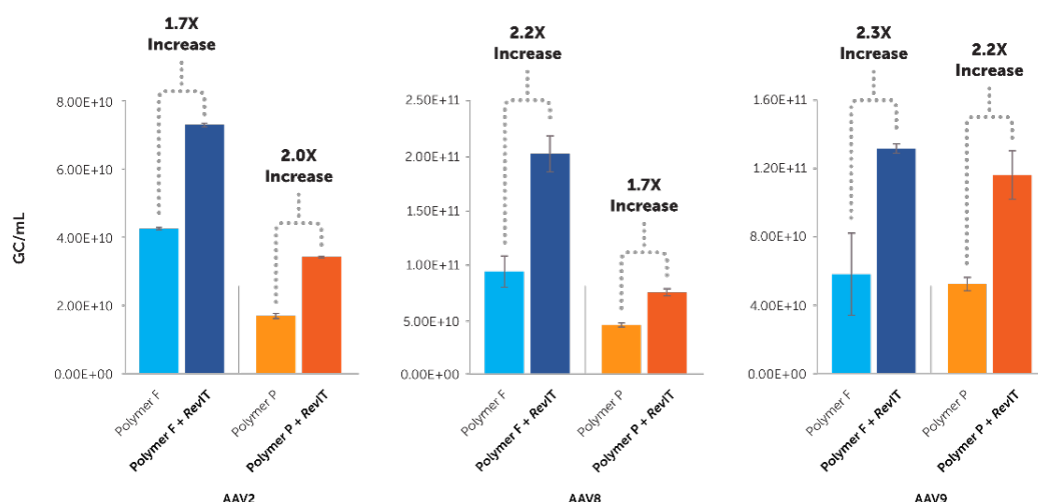
トランスフェクション試薬：DNA複合体溶液にRevITを添加する。トランスフェクション試薬のプロトコルに従って細胞培養液に添加する。

Day 2-3: AAV回収

トランスフェクションから48~72時間後にAAV回収。

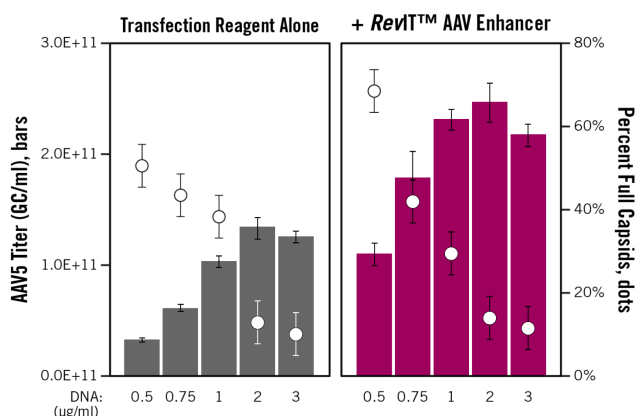
実験データのご紹介

RevIT AAV Enhancerを従来のポリマーベーストランスフェクション試薬と組み合わせることにより、さまざまな血清型において高力価のAAV生産が可能に



3種の血清型のAAVコンストラクトを各社トランスフェクション試薬とRevIT AAV Enhancerを用いてHEK293細胞に導入し、産生されたAAVの力価を測定しました。いずれの血清型とトランスフェクション試薬の組み合わせにおいてもRevIT AAV Enhancerによって力価が上昇しました。

少量のプラスミドDNA (pDNA) でも高い力価とフルカプシド率を実現



RevIT AAV Enhancer を使用すると0.5 μg/mLのpDNA量でも従来法と同程度のAAV産生量を確保できます。さらに、少量のDNAを使用することで、フルカプシドの割合が高くなることも判明しました。少量のpDNAを使うことで、大幅なコスト削減と高品質のAAV生産を実現できます。

AAV作製用トランスフェクションキット TransIT-AAViator™ Transfection System

mirus bio®

TransIT-AAViator™ Transfection Systemは、新世代のポリマー・脂質複合体のTransIT-AAViator™トランスフェクション試薬と、AAV産生活活性化試薬であるRevIT AAV Enhancerから構成されます。AAVベクターの産生量とカプシド率が大きく向上するため、プラスミドの消費量やウイルス精製にかかるコストを抑えることが可能です。

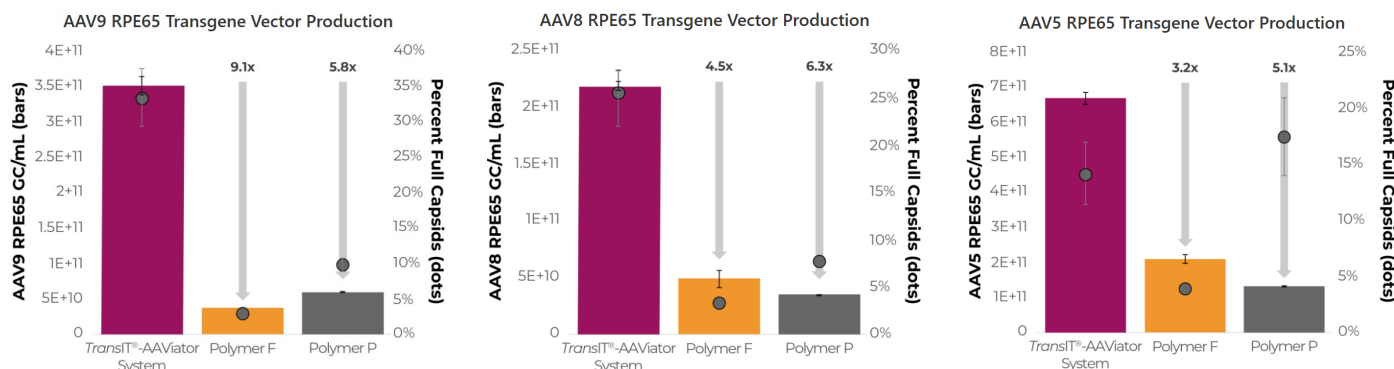


特長

- 高効率なDNA導入効率
- 高いAAVベクター産生量
- 高いカプシド率
- 一貫したスケーラビリティ
- 多くのセロタイプに対応
- シンプルなワークフロー

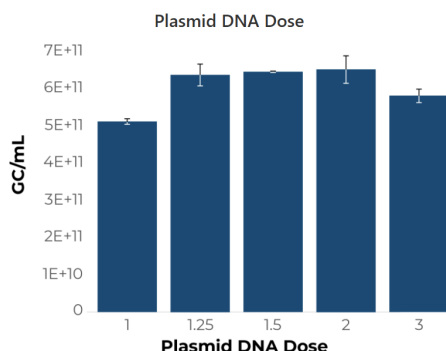
実験データのご紹介

高タイター・高カプシド率を実現



Viral Production Cells 2.0(Thermo Fisher)にpAAV-WPRE-GFP (Aldevron), pAAV-Helper (Aldevron), pAAV-RepCap (AAV9 and AAV8 Genemedi, AAV5 Aldevron)を1:1:1で導入した。トランスフェクション試薬として、TransIT-AAViator Transfection reagent(1.25:1,vol:wt), Polymer F (1:1), Polymer P (1:1)にそれぞれRevIT-AAV Enhancerを加えたものを使用した。全てのセロタイプはトランスフェクション後72h後に回収し、dPCRでゲノムコピー数を、ELISAでカプシド量を測定し、カプシド率を算出した。全てのセロタイプでTransIT-AAViatorは他社トランスフェクション試薬と比較して顕著にタイター・カプシド率が高いことを示している。

DNAプラスミド使用量を抑え、コストを削減



Viral Production Cells 2.0(Thermo Fisher)にpAAV-WPRE-GFP (Aldevron), pAAV-Helper (Aldevron), pAAV-RepCap (AAV9 and AAV8 Genemedi, AAV5 Aldevron)を1:1:1で導入した。トランスフェクションはTransIT-AAViator® Transfection reagent (1.25:1,vol:wt). RevIT-AAV Enhancer (1 µl/mL)を用い、プラスミドDNA量系列で比較した。

1 mg/Lのプラスミド量でも高いタイターを示すため、AAV作製プロセスにおけるプラスミド使用量を抑え、コスト削減につながる事が期待できる。

輸入販売元

KIKO・TECH
キコーテック株式会社 事業開発部

本社 大阪府箕面市船場西三丁目10番3号
〒562-0036 TEL 072(730)6790 FAX 072(730)6795
東京支社 神奈川県川崎市中原区新丸子東三丁目1200番地 KDX武蔵小杉ビル
〒211-0004 TEL 044(430)3245 FAX 044(433)4390

<https://www.kiko-tech.co.jp/>



・記載の内容は2025年7月現在のものです。
・記載の内容は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
・掲載製品は研究用のみ使用できます。診断目的及びその手続き上での使用はできません。

MB_RI_2507_v2